

# OIC ライスボールセミナー

- おにぎりをきっかけに研究と出逢う -

2016

参加費  
無料

ライスボールセミナーとは ...

お昼休みに、おにぎりを食べながら、  
本学若手研究者の研究発表を聞いて頂くセミナーです。

おにぎり &  
お茶付き!

時間 12:20 - 12:50

場所 C棟2F C271 ラーニングスタジオ

12/6 火



フィットリオ アシャデオノ  
**Fitrio Ashardiono**  
立命館アジア・日本研究機構  
専門研究員

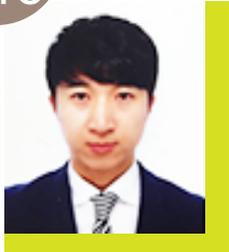
## 「宇治茶と気候変動」

日本人であれば誰もが知っている宇治茶はあと数十年後になくなってしまいう可能性がある。近年発生している気候変動や異常気象は一般的にはわずかな変化だとしか感じなくとも、農業地域には致命的なものになる。宇治地域の気象も着実に変化してきている。現在一般的に入手できる宇治茶や宇治抹茶は実際に宇治地域からの茶葉を使ってないかもしれない。宇治茶を守るために気候変動に対する適応策を進める必要がある。

研究分野：環境政策、気候変動、伝統的な知識、精密農業

研究の道に進んだきっかけ：私たちが住む地球には気候のサイクルがあるが、人為的な影響が自然の気候サイクルに変化を与えてしまった。目の前に現れた気候変動の危機を感じたことで、上手く適応する方法や解決策を見つけた！と思い研究の道に進んだ。

12/13 火



カン サンミン  
**姜 尚民**  
経営学研究科  
博士後期課程

## 「自ら、生き残る道を模索する中小企業」

中小企業は国民・地域経済を支える担い手として重要な役割を果たしている。しかし、多くの中小企業では、企業活動に経営資源（資金、人材、設備、情報など）が限られている問題を抱えている。こうした問題を、斜陽産業である韓国製靴産業の事例から、産業集積の視点から考察する。

研究分野：中小企業、ネットワーク、経営戦略

研究の道に進んだきっかけ：学部時代からベンチャー企業という、いわゆる革新的小企業に興味を持っていた。しかし、卒業後2年間の中小企業で職務経験は、本で見た中小企業と現実との大きな差を感じられるきっかけとなった。さらに、取引先の日本中小企業と比べ、韓国中小企業の実態は残酷であった。そこで、中小企業を中心とした研究の道に進みたく、日本への留学を決心した。

次回 ライスボールセミナー  
新年度2017年5月に、開催予定です。お楽しみに～！

お問い合わせ：立命館大学 OICリサーチオフィス（大浦、岡本）  
Tel：072-665-2570 Email：oicro@st.ritsumeai.ac.jp

共催：OIC総合研究機構

R RITSUMEIKAN  
UNIVERSITY